

平成30年度事業計画

I 基本方針

国は、働き方改革について、一億総活躍社会実現に向けた最大のチャレンジであるとし、「働き方改革実行計画（平成29年3月28日働き方改革実現会議決定）」を策定しております。

この計画の中で、高齢者の雇用促進について、次のように述べています。「高齢者の7割近くが、65歳を超えても働きたいと願っているが、実際に働いている人は、2割にとどまっている。労働力人口が減少している中で、我が国の成長力を確保していくためにも、意欲ある高齢者がエイジレスに働くための多様な就業機会を、提供していく必要がある。（中略）

地域の様々な機関が、連携して高齢者の就業機会を創る取組の中で、起業の促進を図る。また、健康づくりやフレイル対策を進めつつ、シルバー人材センターやボランティアなど、高齢者のニーズに応じた多様な就労機会を提供する。」

これら国の施策の実現を担う団体として、シルバー人材センターの役割は、益々重要になってきています。

このような状況を踏まえ、「高齢者が地域で働くことを通じて、活力ある高齢社会・地域社会づくりに貢献するとともに高齢者が健康で充実した生活ができること」を基本理念とし、「シルバープラン青梅 第3次長・中期計画」にもとづき、以下の基本方針を柱として平成30年度の事業計画を策定しました。

1 地域への貢献

地域を中心とした組織活動を展開し地域社会に貢献します。

2 丁寧な仕事の推進

「丁寧」、「確実」、「親切」な就業を推進し、誰からも愛され親しまれるシルバーをめざします。

3 安全就業

安全はすべてに優先し「事故ゼロ」をめざします。

4 生きがい

会員が生きがいをもって就業できるよう就業機会の確保に努めます。

5 効率的な組織運営

効率的で開かれた組織運営をめざします。

II 事業計画

1 受託事業

(1) 適正就業の推進

適正就業ガイドラインにもとづき、発注者ならびに会員に対し、事業の仕組み等を啓発し、適正就業を推進します。また、派遣による就業が適正である業務については、順次、派遣事業に切り替えていきます。

(2) 受注作業の迅速化

受注が季節的に集中する職種においては、応援体制を取り入れ効率的、迅速に対応します。

(3) 就業規約等の啓発

全ての会員が、センターの基本理念や就業規約等を理解したうえで就業できるよう接遇研修を通じて啓発します。

2 指定管理事業

釜の淵市民館および永山ふれあいセンターの管理においては、指定管理者として、利用者が気持ちよく利用できるよう管理運営に努めます。

3 独自事業

(1) パソコン教室

一般市民を対象とするパソコン教室の受講者の増加を図るため、イベントや市広報を活用しPRに努めます。

(2) シルバーショップ「よりみち」

広く市民に「よりみち」を利用していただくため、展示販売物の充実を図るとともにイベントを活用しPRに努めます。

(3) 東原プール売店

子供たちに好評を得ているものの、夏季の厳しい就業環境における事業であることを踏まえ、会員の健康管理等に配慮しながらサービスの向上に努めます。

4 リサイクル事業

会員がもつ技能を活用し、粗大ごみとして出された再生可能な物品を再生・販売して資源リサイクルに努めます。また、人気物品を確保し、販売点数の増加を図るとともに、商品の配送など利用者サービスの向上に努めます。

5 普及啓発事業

- (1) 就業の場の確保・拡充を図るため、市民センター等市施設へ普及啓発パンフレットを配置し、ピーアールに努めます。
- (2) 「いきいきシルバーまつり青梅」の開催や「産業観光まつり」に参加し、市民へシルバー事業の普及啓発に努めます。
- (3) ホームページの充実を図り、情報提供に努めます。

6 研修・講習事業

会員の資質、技能の向上や安全就業を推進するため、次の事業を実施します。

- (1) 新たな就業場所で質の高いサービスを提供するため、接遇研修等を実施し、就業にあたっての基本的なルール等の習得に努めます。
- (2) 安全就業を推進するため、刈払機等機器取扱い研修を実施し、事故防止に努めます。
- (3) 夏季の健康管理を目的として、熱中症予防研修を実施します。
- (4) 連合が主催する研修に積極的に参加し、役職員の資質の向上に努めます。
- (5) 会員が、技能向上のため参加する就業支援研修に対し、支援します。
- (6) 新入会員に対しては、センター事業の理念をはじめとする基本的事項が習得できるよう、入会説明会、新入会員研修を実施します。

7 就業開拓事業

(1) 空き家等の管理業務の推進

所有者が市内に不在のため、維持管理が困難になっている空き家、空き地等について、見回り、植木の手入れ、除草等の業務を、青梅市と連携しながら実施します。

(2) 女性会員の就業機会の確保・拡大

女性委員会による女性会員の就業実態、就業の課題等に関する検討を行ない、「生活援助サービス」など女性の特性を生かした就業の場の確保・拡充を図ります。

(3) 労働者派遣事業の推進

会員がもつ知識、経験を有効に活かし、多様な就業機会を確保するため「シルバー人材センター等労働者派遣事業」の事業所として、業務の転換を推進します。

8 相談事業

会員間のトラブルや就業上の悩みごとなどを早期に解決するため、就業相談窓口を開設します。

9 安全就業推進事業

「事故ゼロ」をめざし、安全就業を推進するため、次の事業を実施します。

- (1) 「安全就業強化月間」、「冬期傷害事故防止月間」、「私は事故を起こさない大会」、「健康体操講習会」を実施し、安全意識の高揚と事故防止に努めます。
- (2) 職場ごとの安全目標設定を推進し事故防止に努めます。
職場巡回を実施し、各職場の安全就業実態の把握、点検に努め、改善の必要な職場においては改善策を講じます。
- (3) 青梅警察署と連携し、就業途上等の交通事故を防止するため「交通安全教室」や「自転車シミュレータ交通安全教室」を実施します。

10 地域への貢献

(1) ボランティア活動の推進

地域班により保育園を中心としたボランティア活動を積極的に実施し、地域社会に貢献します。

(2) 高齢者に対する生活援助サービスの推進

青梅市から介護予防・日常生活支援総合事業の事業所指定を受け、会員が「おうめ生活サポーター」として、地域高齢者に対する生活援助サービス（掃除、買物、調理、洗濯等）を実施します。

11 組織運営

(1) 危機管理およびBCP（事業継続計画）の推進

大規模災害等における危機管理およびBCP（事業継続計画）マニュアルにより、行動できるよう普及啓発に努めます。

(2) 個人情報および特定個人情報の保護・管理の徹底

個人情報保護方針および特定個人情報保護方針にもとづき個人情報等の保護と管理の徹底に努めます。

(3) 会員の事業参画推進

イベントの企画などへの会員の積極的な参画を推進します。

(4) 情報提供

会報「シルバー青梅」やホームページを活用し、情報提供に努めます。

(5) 未収金の早期回収

事業運営に大きな影響をおよぼす未収金については、督促を行うとともに、回収の方策を検討し、早期の回収を図ることにより、貸し倒れの防止に努めます。

(6) 事務機能の充実

シルバー事業の事務処理を迅速かつ効率的に処理するため、業務システムの充実を図るとともに、書類のペーパーレス化、情報セキュリティ対策等に取り組みます。

平成30年度 収支予算書（正味財産増減計算）

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法 人 会 計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	640,500	640,500	1,281,000
正会員受取会費	640,000	640,000	1,280,000
特別会員受取会費	500	500	1,000
受託事業収益	428,353,470	5,398,530	433,752,000
受取配分金	382,030,000	0	382,030,000
受取材料費等	14,036,000	0	14,036,000
受取事務費	32,287,470	5,398,530	37,686,000
労働者派遣事業等受託収益	296,000	0	296,000
労働者派遣事業等受託費収入	296,000	0	296,000
受取補助金等	41,143,000	0	41,143,000
受取連合交付金	7,236,000	0	7,236,000
受取市補助金等	30,744,000	0	30,744,000
受取福祉・家事援助コーナー設置助成金	2,900,000	0	2,900,000
指定正味財産から振替	263,000	0	263,000
雑収益	21,000	21,000	42,000
受取利息	1,000	1,000	2,000
雑収益	20,000	20,000	40,000
経常収益計	470,453,970	6,060,030	476,514,000
(2) 経常費用			
事業費	470,453,970		470,453,970
支払配分金	382,030,000		382,030,000
支払材料費等	8,366,000		8,366,000
職員基本給	18,563,760		18,563,760
職員特別手当	6,371,920		6,371,920
職員諸手当	3,648,720		3,648,720
法定福利費	6,232,080		6,232,080
福利厚生費	78,200		78,200
退職給付費用	993,600		993,600
臨時雇賃金	10,298,000		10,298,000
会議費	235,000		235,000
旅費交通費	1,994,000		1,994,000
通信運搬費	1,261,000		1,261,000
減価償却費	1,190,850		1,190,850
消耗什器備品費	127,000		127,000
消耗品費	3,765,260		3,765,260
修繕費	1,285,000		1,285,000
印刷製本費	392,400		392,400
燃料費	1,560,000		1,560,000
光熱水料費	1,988,300		1,988,300
賃借料	5,782,600		5,782,600
保険料	4,323,000		4,323,000
手数料	219,760		219,760
委託費	6,909,440		6,909,440
諸謝金	280,000		280,000
租税公課	1,648,800		1,648,800
支払負担金	765,280		765,280
自転車登録証代金	144,000		144,000

科 目	公益目的事業会計	法 人 会 計	合 計
管理費		6,060,030	6,060,030
職員基本給		1,614,240	1,614,240
職員特別手当		554,080	554,080
職員諸手当		317,280	317,280
法定福利費		541,920	541,920
福利厚生費		6,800	6,800
退職給付費用		86,400	86,400
臨時雇賃金		344,000	344,000
旅費交通費		396,000	396,000
通信運搬費		105,000	105,000
減価償却費		210,150	210,150
消耗品費		259,740	259,740
印刷製本費		297,600	297,600
光熱水料費		155,700	155,700
賃借料		851,400	851,400
手数料		18,240	18,240
委託費		194,560	194,560
租税公課		70,200	70,200
支払負担金		18,720	18,720
雑費		18,000	18,000
経常費用計	470,453,970	6,060,030	476,514,000
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	62,924,483	4,104,070	67,028,553
一般正味財産期末残高	62,924,483	4,104,070	67,028,553
II 指定正味財産増減の部			
(1) 収 益			
収益計	0	0	0
(2) 費 用			
一般正味財産への振替額	262,933	0	262,933
費用計	262,933	0	262,933
当期指定正味財産増減額	△ 262,933	0	△ 262,933
指定正味財産期首残高	3,186,202	0	3,186,202
指定正味財産期末残高	2,923,269	0	2,923,269
III 正味財産期末残高	65,847,752	4,104,070	69,951,822